

## 平和な世界を築く言葉

京都府 京都女子高等学校 三年

楠田 実紅 くすだ みく

「戦争は悲惨だ」「戦争をしてはいけない」私たちは、何度もこういった言葉を耳にしてきた。しかし、現代に生きる私たちは「戦争」の恐ろしさをいまいち理解していない。戦争のために大切な人を失ったり、窮屈な生活を強いられたり。当時の人々が受けた苦しみは私たちの想像を遥かに絶するもので、その痛みを分かることはできない。しかし、二度と同じ過ちを繰り返さないためにも、私たちはなぜ戦争が起こるのか考えなくてはならない。

なぜ戦争は起こるのか。相手への恐怖、自らの貧困、資源の枯渇、宗教対立。きつと、戦争が始まる理由は様々だろう。でも、すべての戦争にいえる共通点が一つある。それは、相手を想う気持ちがないということだ。そもそも、相手を想う余裕があれば、殺してしまおうなんて思わない。また、そこに自分の受けた苦しみが、やりようのない怒りが、憎しみが止めどなく

込み上げて「憎しみの連鎖」が生まれる。この「憎しみの連鎖」が生まれたら、もう戦争は止まらない。殺し合って憎んで、また殺して。だから、なくなならない。だから、何千年と人間の歴史の中で繰り返してきた。

仏教用語に「慈悲」という言葉がある。自分以外の他者を想いやるといのが、この言葉の意味だ。そして、これこそ平和な世界を築く言葉だと思う。あなたが武器を手取る前に、尊い命を奪う前に、一度考えてほしい。戦争とは無関係な子どもたちや、罪のない人々のことを。そして引き金を引いたその先に、どれほどの恐怖と憎しみを生み出すのかと。

どれほど悔やんでも嘆いても、過去は変えられないし、変わらない。でも、未来は変えられる。この手で、私たちで。だからこそ、慈悲の心を胸に、平和な世界を私たちで築いていこう。もう二度と、戦争で憎しみと恐怖を生みださないように。